

2019年10月25日

NCA 路線ネットワークの一部変更

～ 継続的な大型貨物専用機の提供によりお客様のニーズに応じて参ります ～

日本貨物航空株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：大鹿 仁史、以下 NCA）では、本年夏期スケジュールより、全てのボーイング 747-8F 型貨物専用機（以下：8F）8 機の運航を再開しております。

今般、より安全で確実な運航とサービスの向上を目的として冬期スケジュールより（10月27日（日）以降）、路線ネットワークの最適化に取り組んで参ります。

変更のポイントは以下の通りです。*1

1. 米国線

（1）シカゴ線

- ① 2020年1月以降*2、一部の成田出発便で出発時刻を成田発 14：00 台から、22：00 台に変更します。成田空港で当日搬入貨物の受付時刻が後ろ倒しになります。
- ② 2020年1月以降*2、一部のシカゴ発成田到着便で、到着時刻を 07:00 台に早めます。成田空港での輸入貨物引き渡し時間が短縮されます。

（2）ロサンゼルス線

冬期スケジュールより*2、一部の運航便を Atlas Air Inc.（以下：ATLAS）との共同運送によるボーイング 747-400F 型貨物専用機（以下：400F）から、大型の NCA 運航の 8F に機材変更します。これにより長尺物等フレイターサイズ貨物に対応するスペースが増えます。

2. アジア線

10月27日（日）より、上海浦東からシカゴに直行するサービスを新たに週 1 便開始します。今後、増便も検討して参ります。

3. 大西洋線・欧州線

世界一周便路線（成田 - アンカレッジ - シカゴ - フランクフルト・ハーン - ミラノ - 成田）については、運航効率の最適化を考慮した結果、成田—アンカレッジ—シカゴ間の折り返し運航に変更します。これによりシカゴ発フランクフルト・ハーン到着便については 12月24日（火）発、フランクフルト・ハーン発成田到着便については、12月25日（水）発を最後に休止します。

欧州線につきましては、成田発着の週 4 便（成田 - アムステルダム - ミラノ - 成田）を、従来通り運航します。今後、成田とフランクフルト間サービスについては、アムステルダム空港でのトラック接続サービスを継続します。

一方、ミラノ発サービスについては、成田発着便と合わせてパートナー航空会社との提携によるサービスを強化して参ります。

4. 定時性改善への取り組み

機材配置の最適化、運航経路の見直し、総飛行時間の短縮等の運航効率化により、機材稼働に余裕を持たせ、定時性を改善し運航品質の向上に努めて参ります。

今後 NCA は自社運航する 8 機の 8F と、ATLAS との戦略的業務提携を通じて ATLAS が運航する機材を最大限活用し、安定した定期便サービスを提供すると共に、チャーター輸送サービスや三国間輸送サービスの拡大も同時に図って参ります。

今後とも引き続きお客様のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

*1: これらの計画は関係当局への申請・認可を前提としています。

*2: 開始日、運航便数など決定され次第、当社営業担当者よりご案内いたします。

以 上

お問い合わせ先：総務部 TEL0476-30-3946